

市議会からの意見

主な意見

<全般について>

- P.9の「まち」の「基本方向」では若者に特化した取り組みの表現となっている。年少者や高齢者も含めた「まち」を考えるべきではないか。
- P.12で「馬」はまちの大きな特長だが、今の観光資源だけで集客を増やすのは難しいと思うがどうか。
- 馬を柱にするのであれば、教育や子育てにも馬に関することが出てきても成り立つようにイメージするが、もっと特徴的なものを全面に見せていければと思う。
- 全国、近隣市と比してもっと、特長が出せるようなことは考えられないか。
- 総合戦略の期間は5年間だが、H72年度を見据えた中での5年であり、まちの具体的な全体像が見えてこない。魅力あるまちのイメージが示せないか。

<「指標設定」について>

- 総合戦略ではKPI（重要業績評価指標）の設定が求められているが、KGI（重要目標達成指標）が多いように感じる。もう少し検討が必要ではないか。
- 具体的施策に対するKPI（重要業績評価指標）について、それだけではその施策に対する指標になりえないものもある。複数の指標を設定すべきではないか。

<「計画中に取り組む施策」について>

- P.13「市街地の活性化と地域拠点をつなぐまちづくりの推進」に関連して、栗東駅前のアンケート調査で、住んでいる人たちはにぎわいを求めている、一方で勤めている人にはにぎわいを求める結果だった。草津市、守山市に転出される際のニーズとしてはこのような商業のことや、子育ての話もあると思う。駅前のにぎわいの話についてもしっかりと考える必要がある。
- P.14「観光事業の推進」について以前、観光の関係で、草津市長が琵琶湖のことは草津市に任せてもらい、山のことは栗東市など連携してやっていけないかという話があった。例えば草津駅を利用して馬の関係につなげることも検討できないか。
- P.14の「周遊バスの利用者数」について、金勝地域だけでなく、市内にはいろいろな資源があり、もっといろいろなところにスポットを当てて取り組まないのか。
- P.16の「結婚の希望をかなえる環境の整備」について、「具体的な取り組み」がどのように婚姻件数の増加につながるのかという関係は明確なのか。その根拠は。
- P.17の外国語指導助手の増員も大切だが、基礎的学力の定着にはまずは日本人としての知識をつけていくことが重要で、そのためには学校司書の設置や図書の充実を考えた方が良いと考える。
- P.18「子どもの育ちを切れ目なく支える支援の実施」の「生活困窮世帯の自立に向けた支援」で、学習支援も重要だが、食に関することも重要であり、市内でも取り組まれている子ども食堂なども必要。
- 商工振興ビジョンにも関係するが、知的財産権は総合戦略を進める上でも武器となるので、どう活用するかも含め検討すべき。

<戦略の推進等について>

- 総合戦略や商工観光ビジョン・ロードマップの推進にあたり、今後一定の成果が求められる中、財源も含め現状の職員数、人員体制でやっていけるのか。人づくりも進めてもらいたい。